

平成22年度 名古屋大学地震防災訓練（全学一斉訓練：10月14日（木））実施計画

1. 目的

- 1) 緊急地震速報を受けて即時対応訓練を実施する。
- 2) 大規模地震が勤務時間内に発生したと想定し（10月14日（木）午前10:30地震発生）、情報伝達・安否確認・建物外一時退避訓練を実施する。

2. 訓練の日時 平成22年10月14日（木） 10時30分～12時00分 （第2限目）

3. 想定

- 【想定①】 名古屋大学で震度6弱を観測する地震が発生。同時に全学が停電となる。想定は次の通り（OA機器の使用不可、エレベーターの停止、電子ロック扉の開閉に関する制限、トイレの使用制限。その他各部局で考えられる停電による制限）
- 【想定②】 「IB電子情報館」「理学部A棟」「農学部東西研究棟」「全学共通教育棟」の4建物では原則として建物外へ一時退避する。

4. 訓練対象範囲

東山地区、鶴舞地区、大幸地区、東郷地区、留学生会館（陶生）、国際嚶鳴館（山手）

5. 10月14日（木）の全学一斉訓練計画

事 項	部 局 災 害 対 策 本 部
<p>震度6弱の地震発生連絡 情報伝達訓練（詳細別紙： 行動マニュアル） （環境安全支援室長→総長） （施設企画課）</p> <p>（停電） 部局災害対策本部及び部 局防災隊設置指示 【想定②該当部局】退避 終了報告 （部局連絡担当→部局内 ）</p> <p>部局災害対策本部及び部 局防災隊設置完了報告 【想定②該当部局】は退 避終了報告も含む （部局災害対策本部長→ 災害対策統括本部）</p> <p>被害状況の報告 （部局災害対策本部長→ 災害対策統括本部）</p> <p>訓練終了</p>	<p style="text-align: center;">*エコトピア周辺のみブロック単位で訓練を実施（下記の「部局」を「ブロック」に置き換える）</p> <p>1. 構成員は緊急地震速報を聞く⇒各自即時対応を行う</p> <p>【想定②に該当しない部局】 2. 部局長から部局防災隊招集指示</p> <p style="text-align: center;">各部局防災隊招集</p> <p>要員集合・「部局災害対策本部及び部局防災隊設置」</p> <p>3. 部局長へ部局災害対策本部及び部局防災隊設置報告（集合人数報告） — 第1次報告 — （部局災害対策本部長→災害対策統括本部 広報・情報連絡担当）</p> <p>(1) 【防災無線設備】もしくは【伝令】による報告 <u>*規定のフォーマットによる。ただし、無線等の通信手段を使えない場合は第2次報告のときにまとめて報告してもよい</u></p> <p>【想定②に該当しない部局】 部局内情報伝達</p> <p style="text-align: center;">指 揮 部局防災隊総務班→実験指導教員等 被害状況報告</p> <p>4. 部局内被害状況の報告 — 第2次報告 — （部局災害対策本部長→災害対策統括本部 広報・情報連絡担当）</p> <p>(1) 【防災無線設備】もしくは【報告書持参】による報告</p> <p style="text-align: center;">※「安否確認入力訓練」は対象者全員実施する。</p> <hr/> <p>対象者：東山地区各部局退避対象者および防災隊の救護班・工作班</p> <p>防災教育・研修場所：（東山地区）豊田講堂 講演者：東邦ガス株式会社、保健管理室</p> <p style="margin-left: 40px;">（鶴舞地区）豊田講堂の講演会をTV伝送：場所 中央診療棟3階講堂 （大幸地区）" "：場所 多目的会議室</p> <p>対象者：全構成員（任意参加） 場所：環境総合館1Fレクチャーホール 講師：矢守克也氏（京都大学防災研究所 教授）</p>
<p>本 部： 総合防災訓練</p> <p style="margin-left: 40px;">出火場所：本部2号館2階給湯室 避難場所：職員テニスコート前</p> <p style="margin-left: 40px;">消火栓取扱訓練（訓練場所：本部2号館1階） 消火器取扱訓練（訓練場所：第3グリーンベルト） （※ 雨天の場合：消火栓・消火器取扱訓練は中止する。）</p> <p>訓練終了</p>	
<p>部局訓練：各部局の訓練計画による訓練の実施</p> <p>訓練終了</p>	

